

(電子版)



2022年 第28号 2022年 8月 5日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

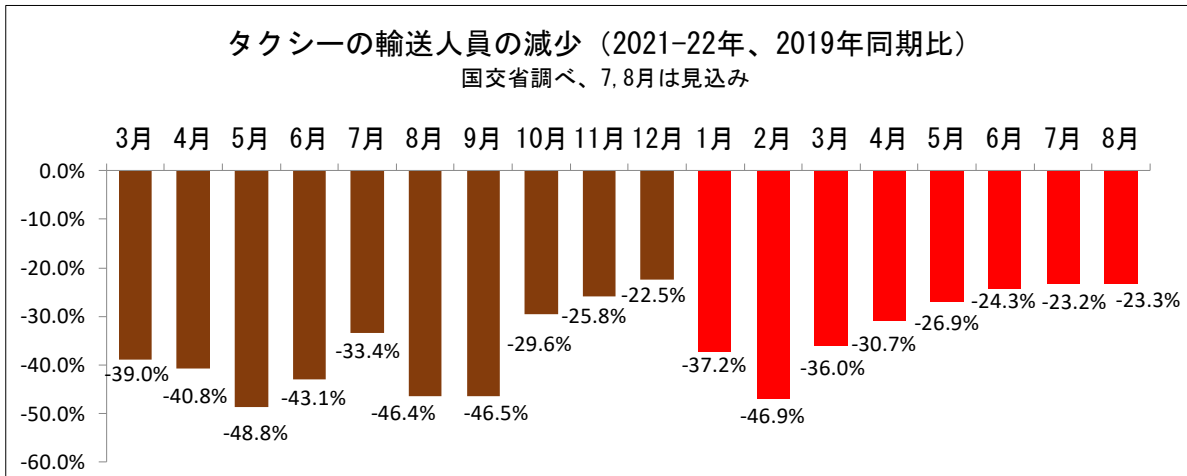
メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



6月のタク営業収入 改善傾向続く

国交省のコロナ影響調査、全タク連の全国サンプル調査の6月分を紹介します。



◎タクシー雇用調整助成金の活用状況

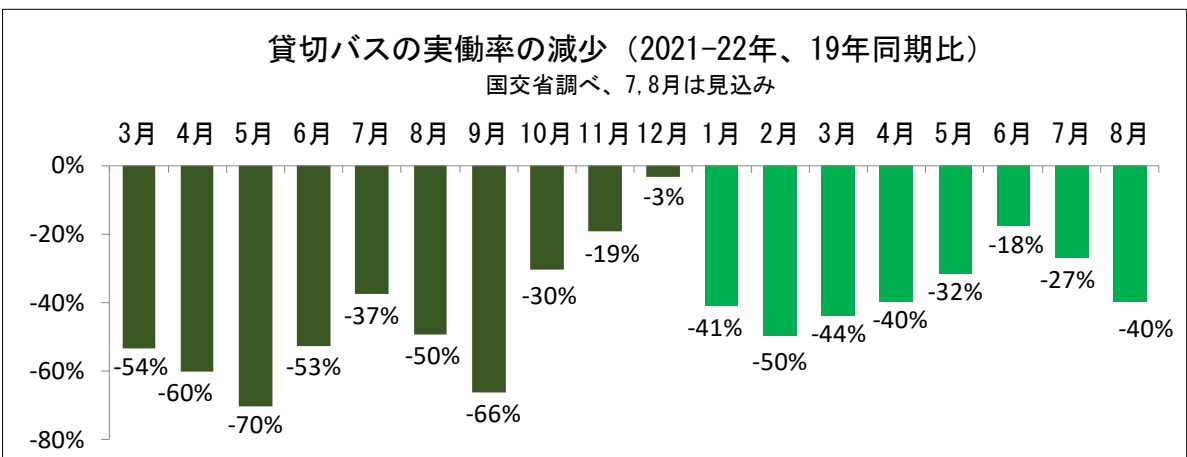
7月末まとめ

雇用調整助成金	者	%
給付済	172	75%
申請済(未給付)	10	4%
活用に向けて検討中	9	4%
活用予定なし	37	16%
回答計	228	100%

◎貸切バス雇用調整助成金の活用状況

7月末まとめ

雇用調整助成金	者	%
給付済	52	84%
申請済(未給付)	0	0%
活用に向けて検討中	1	2%
活用予定なし	9	15%
回答計	62	100%



新型コロナウイルス感染症の影響によるタクシー営業収入の変化(全タク連緊急サンプル調査)

太字 50%未満

都道府県	サンプル(社)	運賃改定	2021/22年(19年同月比)												
			21年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	5	○	52.5%	64.6%	52.2%	51.1%	75.2%	71.8%	75.2%	65.6%	55.6%	64.1%	68.6%	71.6%	74.2%
青森	5	○	67.2%	70.5%	58.7%	63.5%	74.3%	78.2%	85.5%	67.4%	59.5%	67.2%	68.9%	71.7%	81.2%
岩手	5		64.5%	63.2%	54.4%	57.8%	72.6%	73.9%	73.9%	70.0%	61.1%	64.7%	70.0%	70.1%	70.1%
宮城	5		80.9%	77.3%	56.4%	53.9%	70.4%	77.1%	85.1%	73.3%	60.0%	80.9%	*130.9%	*116.6%	98.8%
秋田	5		56.4%	61.7%	48.7%	54.0%	65.6%	70.9%	76.8%	67.6%	58.1%	61.5%	58.8%	67.3%	71.6%
山形	5		49.7%	51.6%	44.8%	48.0%	63.6%	66.0%	71.5%	58.5%	47.6%	52.7%	99.5%	64.4%	66.3%
福島	7		64.3%	68.3%	55.3%	56.7%	65.9%	74.8%	78.8%	74.2%	65.2%	74.5%	*114.8%	*96.7%	85.1%
茨城	5		56.0%	55.3%	44.7%	39.9%	55.3%	64.0%	69.2%	57.8%	46.9%	59.9%	81.9%	76.7%	75.7%
栃木	9		59.3%	66.9%	56.1%	53.6%	67.2%	77.8%	81.4%	74.3%	61.6%	73.5%	83.0%	89.1%	89.6%
群馬	5		62.3%	69.4%	57.8%	57.2%	72.8%	66.3%	76.9%	65.6%	59.2%	70.5%	75.1%	75.5%	81.6%
埼玉	5	○	73.2%	83.3%	66.5%	67.5%	86.5%	88.3%	93.4%	82.6%	70.4%	78.7%	88.3%	89.7%	93.3%
千葉	6	○	61.0%	66.3%	56.2%	55.9%	70.4%	74.9%	82.9%	74.6%	62.0%	72.7%	84.5%	87.8%	95.5%
東京	5		61.1%	62.7%	63.3%	65.2%	75.8%	77.0%	83.0%	73.9%	64.0%	71.5%	79.6%	84.7%	84.4%
神奈川	5	○4	74.6%	77.1%	75.1%	70.7%	86.9%	88.5%	90.3%	78.1%	70.9%	80.2%	87.6%	90.8%	92.5%
山梨	5		63.7%	66.9%	51.2%	52.8%	85.9%	71.0%	76.6%	69.9%	71.7%	69.0%	83.2%	89.9%	88.5%
新潟	5	○4	68.4%	71.4%	55.3%	62.5%	73.8%	76.8%	82.9%	63.7%	57.0%	68.6%	68.2%	76.4%	82.3%
富山	5		59.2%	68.5%	54.0%	51.0%	78.1%	81.7%	88.8%	71.5%	61.3%	71.2%	81.0%	84.3%	82.3%
石川	4		42.5%	53.9%	34.6%	38.9%	74.5%	84.6%	72.2%	58.7%	44.5%	52.3%	64.5%	67.3%	70.7%
長野	5	○	60.7%	55.6%	46.5%	50.9%	66.0%	64.6%	68.2%	57.6%	46.9%	58.0%	59.2%	67.1%	74.3%
福井	5		57.7%	59.4%	50.4%	55.0%	70.0%	71.1%	78.6%	69.9%	62.6%	72.5%	70.0%	75.1%	76.7%
岐阜	5		57.5%	72.5%	60.8%	51.7%	73.4%	75.9%	82.2%	67.8%	59.2%	65.6%	74.0%	75.6%	79.1%
静岡	5	○	61.9%	72.2%	49.6%	42.3%	64.7%	68.6%	79.8%	61.7%	50.9%	60.5%	71.6%	74.1%	75.6%
愛知	5		50.5%	66.1%	57.2%	53.3%	75.4%	78.7%	86.2%	66.2%	54.9%	66.0%	77.2%	77.9%	81.5%
三重	5	○	58.2%	73.7%	59.1%	50.7%	74.2%	77.6%	81.7%	64.4%	51.9%	65.8%	71.5%	74.6%	82.1%
滋賀	6	○	65.7%	72.3%	61.4%	54.7%	75.6%	75.5%	80.1%	67.8%	63.7%	67.4%	74.1%	75.8%	80.2%
京都	6	○2	41.8%	59.8%	49.5%	42.6%	59.5%	75.7%	80.1%	61.9%	48.9%	62.6%	65.0%	75.8%	81.1%
大阪	5	○	66.7%	75.0%	65.4%	68.2%	77.7%	82.7%	83.2%	76.7%	64.0%	75.1%	79.0%	83.1%	85.7%
兵庫	8	○7	62.6%	71.2%	65.7%	65.1%	79.2%	83.0%	83.3%	72.9%	61.4%	71.7%	80.2%	84.2%	88.1%
奈良	5		59.5%	67.3%	57.0%	58.2%	66.6%	69.5%	72.5%	61.1%	55.4%	59.7%	67.9%	72.4%	77.2%
和歌山	4	○	75.2%	74.9%	69.7%	74.0%	84.1%	92.8%	98.0%	69.6%	58.0%	69.0%	78.5%	77.1%	79.5%
鳥取	5		57.8%	59.6%	51.9%	58.5%	70.2%	73.0%	79.1%	59.1%	52.1%	62.9%	62.8%	68.0%	72.5%
島根	6	○	62.2%	71.1%	60.6%	64.0%	74.6%	79.2%	84.8%	55.7%	49.6%	66.9%	66.4%	67.1%	72.7%
岡山	5	○	50.7%	72.8%	55.4%	50.4%	77.8%	81.5%	85.4%	72.2%	53.0%	73.3%	81.4%	85.2%	88.0%
広島	6	○	51.9%	64.8%	53.7%	51.5%	74.5%	78.0%	78.2%	56.5%	52.4%	68.0%	72.3%	73.9%	76.5%
山口	5	○	65.3%	70.4%	59.9%	55.3%	72.3%	73.9%	77.6%	62.8%	55.8%	69.4%	72.5%	73.4%	75.5%
徳島	5		56.6%	62.2%	53.8%	52.2%	69.6%	72.2%	75.4%	65.7%	56.0%	65.3%	71.4%	76.8%	80.8%
香川	5		57.7%	63.8%	49.2%	47.4%	64.9%	68.0%	74.0%	62.1%	46.4%	57.5%	65.4%	69.7%	71.4%
愛媛	6		58.6%	61.1%	51.9%	54.9%	64.9%	65.6%	64.4%	54.1%	51.2%	55.2%	57.5%	60.3%	63.1%
高知	5	○	54.7%	68.5%	53.3%	49.0%	73.9%	75.5%	83.0%	71.1%	46.6%	60.5%	73.8%	75.7%	76.2%
福岡	8		55.7%	70.2%	58.8%	57.4%	80.7%	82.5%	84.2%	67.7%	56.7%	71.4%	78.3%	79.0%	82.4%
佐賀	9	○	68.0%	73.1%	66.7%	60.6%	77.2%	79.0%	85.1%	66.6%	58.3%	71.5%	76.4%	77.3%	82.3%
長崎	5	○	78.9%	82.3%	66.4%	69.8%	85.0%	88.5%	91.7%	65.3%	55.1%	82.2%	83.6%	82.1%	87.6%
熊本	6		65.0%	72.7%	57.5%	60.3%	80.3%	84.0%	81.9%	69.4%	61.1%	69.5%	78.2%	77.4%	81.9%
大分	7	○	59.8%	69.6%	57.9%	58.0%	64.3%	71.4%	74.2%	61.7%	60.2%	71.1%	65.9%	68.6%	74.3%
宮崎	5	○	81.1%	86.1%	59.5%	53.6%	89.8%	92.5%	97.8%	73.3%	54.0%	80.3%	82.4%	88.4%	94.1%
鹿児島	6	○	63.8%	73.7%	56.2%	53.9%	82.2%	84.5%	88.5%	69.2%	54.5%	74.7%	81.8%	81.2%	87.1%
沖縄	1G+4		50.1%	60.3%	53.8%	56.0%	72.4%	79.9%	90.9%	56.0%	54.7%	73.4%	75.4%	83.7%	81.2%
全国単純平均			61.1%	68.1%	56.3%	55.7%	73.5%	76.8%	81.2%	66.7%	56.9%	68.0%	76.6%	78.1%	80.7%

注、運賃改定の○は20年2月1日から運賃改定をしたところ。数字なしは全社改定、数字は改定した会社数
 * 22年4~5月の宮城・福島の営業収入は、サンプル会社の一部に3月に発生した福島沖地震に対する保険会社の調査特需があった。

9月末まで延長 日額上限額15,000円のまま 雇調金 不正受給への対応を厳格化

厚生労働省は6月28日、9月末までの雇用調整助成金、休業支援金の特例措置等の方針、不正受給への対応の厳格化を発表しました。

雇調金、休業支援金の特例措置については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3～9月は特に業況が厳しい企業、まん延防止等重点措置区域・業態に係る事業主については現行の助成率を最大10/10、日額上限額を15,000円とする特例が継続するとしました。

不正受給については、事業所名等の積極的な公表、予告なしの現地調査のほか、捜査機関との連携強化を行うとしました。

【雇用調整助成金等・休業支援金等の助成内容】

雇用調整助成金等 金額は1人1日あたりの上限額、括弧書きの助成率は解雇等を行わない場合（※1）

		2022年1月・2月	2022年3月～9月
中小企業	原則的な措置	4/5（9/10）11,000円	4/5（9/10）9,000円
	地域・業況特例（※2）（※3）	4/5（10/10）15,000円	4/5（10/10）15,000円
大企業	原則的な措置	4/5（9/10）11,000円	4/5（9/10）9,000円
	地域・業況特例（※2）（※3）	4/5（10/10）15,000円	4/5（10/10）15,000円

（※1）解雇等の有無の確認について

原則的な措置では、令和3年1月8日以降の解雇等の有無及び「判定基礎期間末日の労働者数が各月末の労働者数平均の4/5以上」、地域・業況特例では、令和3年1月8日以降の解雇等の有無

（※2）地域特例（営業時間の短縮等に協力する事業主）

【対象となる事業主】 以下を満たす飲食店や催物（イベント等）を開催する事業主等

（1）緊急事態措置の対象区域またはまん延防止等重点措置の対象区域（職業安定局長が定める区域）の都道府県知事による要請等を受けて、（2）緊急事態措置を実施すべき期間またはまん延防止等重点措置を実施すべき期間を通じ、（3）要請等の対象となる施設（要請等対象施設）の全てにおいて、（5）休業、営業時間の変更、収容率・人数上限の制限、入場者の整理等、飲食物提供（利用者による酒類の店内持ち込みを含む）又はカラオケ設備利用の自粛に協力する

【対象となる休業等】 要請等対象施設における以下の期間を含む判定基礎期間の休業等（短期間休業を含む）

（※3）業況特例（特に業況が厳しい全国の事業主）

【対象となる事業主】 AとBそれぞれの月平均値の生産指標（売上げ高等）を比較し、

Aが30%以上減少している事業主

A：判定基礎期間の初日が属する月から遡って3か月間の生産指標

B：Aの3ヶ月間の生産指標に対して、前年同期、前々年同期または3年前同期の生産指標（①雇用保険適用事業所設置後であって、②労働者を雇用している場合（緊急雇用安定助成金は②のみ）に限る。）

休業支援金等

	申請対象期間	申請期限
中小企業	2021年10月～12月	2022年6月30日
	2022年1月～6月	2022年9月30日
	2022年7月～9月	2022年12月31日
大企業 (※4)	2021年10月～12月	2022年6月30日
	2022年1月～6月	2022年9月30日
	2022年7月～9月	2022年12月31日

(※4) 対象者については大企業に雇用されるシフト制労働者等であって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主が休業させ、その休業に対する賃金（休業手当）を受け取っていない方。

1日当たり支給上限日額**8,265円**（令和3年12月までは9,900円／令和4年8月以降は変更後の基本手当の日額上限額）一部対象地域においては、申請対象期間が令和3年10月～令和4年9月分の場合でも、支給上限日額が**11,000円**となります。

申請開始日は休業した期間の翌月初日からとなります。

既申請分の支給（不支給）決定に時間がかかり、次回以降の申請が期限切れとなる場合、支給（不支給）決定が行われた日から1か月以内に申請いただければ受け付けます。

【不正受給への対応厳格化の内容】

- 事業所名等の積極的な公表
- 予告なしの現地調査
- 返還請求（ペナルティ付き）
- 5年間の不支給措置
- 捜査機関との連携強化

（不正受給は、刑法第246条の詐欺罪等に問われる可能性があります）

申請事業主の皆さま

- ・申請内容に誤りがあった場合
- ・受給した助成金の返還を希望される場合

従業員の皆さま

- ・不正受給に関する情報を把握している場合



ご一報ください

リーフレット



不正受給の対応を厳格化しています

データ（厚生労働省HPより）

雇用調整助成金 <https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000782480.pdf>

休業支援金 <https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000956888.pdf>